

地方独立行政法人大阪市民病院機構 令和6年度決算概要

I 令和6年度決算のトピックス

地方独立行政法人として設立11年目となる令和6年度は、総合医療センター、十三市民病院ともに、引き続き令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により悪化した経営状況の早期回復に向け取り組んできた。

総合医療センターでは病棟改修工事のために順次1病棟を閉鎖しつつも、大阪初となるダビンチSP導入によるさらなる低侵襲医療や救急医療・高度医療等の安定的な提供に努め、高度専門医療機関としての役割を果たしてきた。十三市民病院では緩和ケア内科を立ち上げるとともに、地域に求められる急性期病院として一般医療の回復に取り組んできた。

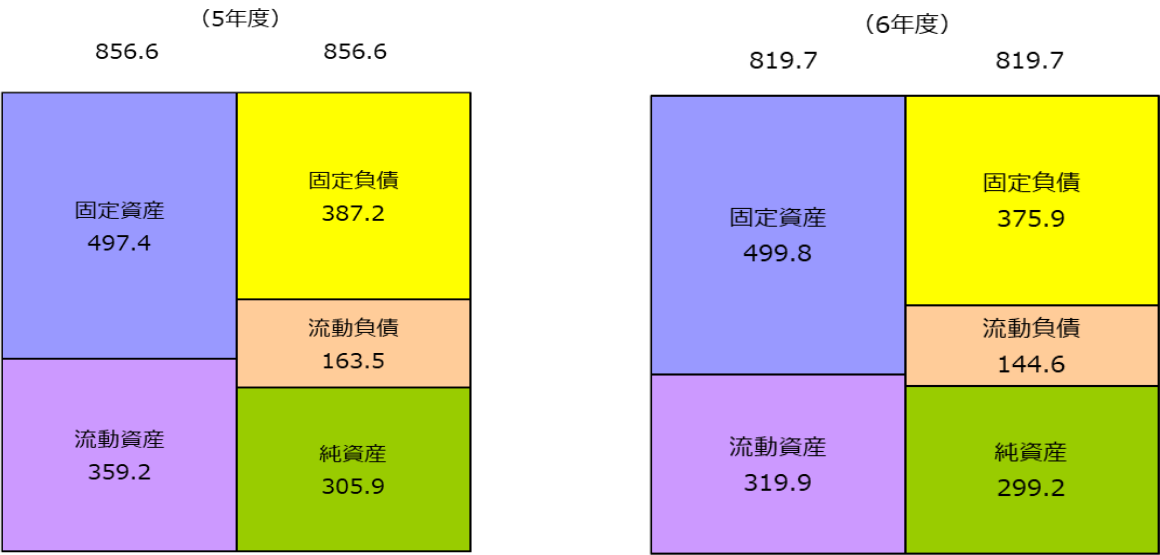
この結果、医業収益は、総合医療センターにおける診療報酬改定による単価増や十三市民病院における入院患者数の回復に伴い、令和5年度より増加した。医業費用は、給与のベースアップや働き方改革に伴う人件費の増や、最低賃金の上昇による委託費の増等により令和5年度より増加した。機構全体の医業損益は令和5年度より約3億円の悪化となった。純損益は、令和5年度より大きく悪化したものの、住吉母子医療センターの計画を上回る収益配分の影響で黒字となった。

今後、人件費の上昇や物価高騰によるさらなる費用の増加が見込まれ、厳しい経営状況が続くことが予想される。引き続き患者数の増加に向けた取り組みを進めるとともに、市民病院に求められる政策医療をはじめとする医療の提供を継続し、公的医療機関としての役割を果たしていきたい。

II 財政状況（貸借対照表より）

- ① 資産合計は819.7億円（前年度比▲36.9億円）
⇒ うち土地、建物、機械備品等の固定資産は499.8億円（前年度比+2.4億円）
- ② 負債合計は520.5億円（前年度比▲30.2億円）
⇒ うち大阪市からの長期借入金残高は181.3億円（▲28.9億円）

●貸借対照表の推移



●長期借入金残高推移

	(億円)		
	5年度	6年度	増減
長期借入金	210.2	181.3	▲ 28.9
移行前分	78.5	66.3	▲ 12.2

●純資産内訳

	(億円)		
	5年度	6年度	増減
資本金	1.0	1.0	0.0
資本剰余金	34.3	62.8	28.5
利益剰余金	270.6	235.4	▲ 35.2
計	305.9	299.2	▲ 6.7

Ⅲ 経営成績（損益計算書より）

- ① 本業の売上高を示す「医業収益」は457.0億円（前年度比+10.1億円）
- ② 本業の利益を示す「営業損益」は20.3億円（前年度比▲19.3億円）
- ③ 営業損益に利息の支払い等を含めた「経常損益」は1.2億円（前年度比▲19.3億円）
- ④ 最終的な利益を示す「当期総損益」は0.9億円（前年度比▲18.8億円）

● 主な項目の推移

(億円)

		5年度	6年度	増減
	入院収益	307.9	316.6	8.7
	外来収益	132.1	133.3	1.2
	医業収益	446.9	457.0	10.1
	補助金等収益	11.3	1.4	▲ 9.9
	運営費負担金収益	74.7	68.9	▲ 5.8
	営業収益	538.6	532.4	▲ 6.2
	給与費	234.2	241.8	7.6
	材料費	145.2	147.2	2.0
	減価償却費	47.1	47.1	0.0
	経費	68.9	72.8	3.9
	医業費用	497.7	511.1	13.4
営業費用		499.0	512.1	13.1
医業損益		▲ 50.8	▲ 54.1	▲ 3.3
営業損益		39.6	20.3	▲ 19.3
営業外損益		▲ 19.1	▲ 19.1	0.0
経常損益		20.5	1.2	▲ 19.3
当期総損益		19.7	0.9	▲ 18.8

【収益面】

医業収益

- ・センターは入院患者が減少した一方で、診療報酬改定等による診療単価の上昇により収益が増加
- ・十三は結核患者の増により診療単価が減少した一方で、患者数の回復により収益が増加

補助金等収益

- ・病床確保補助金が皆減

【費用面】

給与費（医業費用）

- ・本給ベースアップや有期雇用職員への期末手当支給拡大により増加

材料費（医業費用）

- ・医業収益の増により増加

経費（医業費用）

- ・契約単価の上昇による委託料の増加
- ・光熱費の単価上昇や医療機器等の修理件数の増による増加

Ⅳ キャッシュフロー

(億円)

	期首残高	業務活動	投資活動	財務活動	期末残高	資金増加(▲減少)
5年度	242.4	89.0	▲ 26.3	▲ 37.3	267.8	25.4
6年度	267.8	31.7	▲ 37.5	▲ 41.1	220.8	▲ 47.0

Ⅴ 主要指標

	総合医療センター			十三市民病院			住之江診療所		
	5年度	6年度	差引	5年度	6年度	差引	5年度	6年度	差引
入院患者数	287,399人	285,017人	▲ 2,382人	28,608人	36,744人	8,136人	-	-	-
(1日平均)	785人	781人	▲ 4人	78人	101人	23人	-	-	-
(病床稼働率)	83.6%	82.9%	▲ 0.7%	39.3%	48.6%	9.3%	-	-	-
入院診療単価	100,693円	103,843円	3,150円	64,527円	56,063円	▲ 8,464円	-	-	-
外来患者	461,746人	458,772人	▲ 2,974人	73,820人	76,719人	2,899人	5,200人	4,545人	▲ 655人
(1日平均)	1,900人	1,888人	▲ 12人	304人	316人	12人	21人	19人	▲ 2人
外来診療単価	26,452円	26,798円	346円	12,923円	13,009円	86円	9,038円	7,481円	▲ 1,557円
医業収支比率	90.5%	89.3%	▲ 1.2%	49.3%	53.8%	4.5%	44.0%	31.6%	▲ 12.4%
経常収支比率	104.5%	100.3%	▲ 4.2%	100.1%	95.9%	▲ 4.2%	100.8%	98.2%	▲ 2.6%
給与費比率	48.6%	49.5%	0.9%	109.7%	100.8%	▲ 8.9%	92.4%	126.8%	34.4%
材料費比率	32.8%	32.7%	▲ 0.1%	27.8%	25.3%	▲ 2.5%	21.1%	26.0%	4.9%
経費比率	13.8%	14.3%	0.5%	40.1%	38.2%	▲ 1.9%	92.6%	137.4%	44.8%